

－ 持続可能な農業と県北地域における農業の振興に向けて－  
園児が有機農業で栽培されたジャガイモの収穫体験をしました

県北地域においては、少子・高齢化や人口減少等の課題を背景に、農業分野においても、後継者不足等により農業の衰退が懸念されていることから、付加価値を高めた農産物生産による農業の振興を図るために、有機農業の取組を関係機関が連携して推進しています。

具体的には、常陸大宮市における「有機農業推進計画」の実現に向けた取組への支援を進めているところですが、このたび、(株)JA常陸アグリサポートが、今春、初めて、化学肥料や農薬等を使用しない「有機栽培」に取り組み、ジャガイモの収穫時期を迎えたことから、市内の園児を招いた収穫体験が行われ、園児たち約20人が参加して、ジャガイモ掘りを楽しみました。園児たちは、「いっぱい取れたよ」「大きいのが取れたよ」「ちょっと難しかったけど、楽しかったよ」と笑顔を見せていました。

- ◇ 日 時 令和4年6月17日（金）10時～
- ◇ 場 所 常陸大宮市 三美地区
- ◇ 主 催 (株)JA常陸アグリサポート
- ◇ 参加者 常陸大宮市 大賀保育所 園児等 約20名



常陸大宮市では、持続可能な社会・持続可能な農業の実現を図るとともに、付加価値を高めた農産物生産の取組を進めることにより農業の振興を図るため、有機農業を推進することとし、今年度から今後5年間の「常陸大宮市有機農業推進計画」を策定しました。この推進計画において、4つの方策を掲げているなかの一つに、「有機農業に対する理解の促進」があり、「収穫体験」も位置づけられています。

また、三美地区を有機農業推進のモデル地区と位置付けて、関係機関等との連携により各種の取組を推進しているところであり、今回、園児たちが収穫したジャガイモは同保育所の給食に出される予定で、また、今後、同圃場で収穫される有機農業による栽培の野菜等についても、市内の学校給食への提供を検討していく予定となっております。県北農林事務所では、今後とも、引き続き、関係機関等と連携して、県北地域における有機農業の取組の推進を図ってまいります。